

# Rotary MAEBASHI WEEKLY REPORT

2025-2026 | よいことのために手を取りあおう *Unite for good*

## 温故創新

**2025. 12. 23 (火) 第3415回 例会報告**  
**例会日…火曜日(18:00)～アメイジンググレイス前橋**  
 (第1回 昭和28年9月8日創立)  
 ホームページ URL <https://www.maebashi-rc.jp/>  
 電子メールアドレス [office@maebashi-rc.gr.jp](mailto:office@maebashi-rc.gr.jp) [maebashi@rid2840.jp](mailto:maebashi@rid2840.jp)

会 長…温井 尚久  
 幹 事…清水 雅弘  
 クラブ会報委員長…池島 邦和  
 編 集 者…納堂 信明

## クリスマス家族例会

**司 会** 神山副幹事



**点 鐘** 温井会長  
**ロータリーソング** 「それでこそロータリー」



**ビジター** 温井会長

◎ピアノ講師 大谷 知子 さん  
 ◎ローガンズ 星野 洋一 さん  
 ◎前橋RAC 会 長 寺寄 大典 さん  
 副会長 片桐 正人 さん  
 会 計 池田 智子 さん  
 ブヤンダライ バトツエツエグ さん  
 狩野 嶺 さん  
 ◎前橋国際奨学生 ヴォー ニヤット ナム さん  
 リ ティ リン さん

**パートナー表彰** 温井会長  
 (20年) 片桐 伸也 紀美江 様  
 (10年) 佐藤 美恵 圭司 様  
 (5年) 増田 晋一 敦子 様  
 (5年) 前田 修 優子 様



**奨学金贈呈** 温井会長



◎前橋国際奨学生 ナム さん リン さん

**会長報告・会長の時間** 温井会長

皆さん、こんばんは。  
 本日は、前橋ロータリークラブの「クリスマス家族例会」にご参加いただき誠にありがとうございます。



普段、私たちロータリアンが例会や奉仕活動に参加できるのは、ここにいらっしゃるご家族の深いご理解と温かいサポートがあるからです。

今夜は、会員一同、感謝の気持ちを込めて皆様をお迎えしました。また、親睦・ロータリー家族委員会の皆様には、企画から運営までご尽力頂き、感謝いたします。

皆様、どうぞリラックスして楽しいひとときをお過ごし下さい。懇親会の中であらためてご挨拶させていただきます。

本日は最後までよろしく申し上げます。

**幹事報告** 清水幹事

・事務局は12月27日から1月5日迄お休みです。その間に何か必要な事がありましたら清水迄ご連絡ください  
 ・次回1月13日は新年夜間例会18時より(17時30分受付)会場はロイヤルチェスター前橋です。



**副幹事報告** 神山副幹事

例会変更のお知らせ  
 桐生西RC、沼田RC、富岡RC、富岡かぶらRC

**出席報告** 片山副委員長

会 員 数：118名 出 席 者： 64名  
 欠 席 者： 54名  
 本日出席率：56.14%



**ニコニコBOX** 篠原委員

■星野 洋一…バンド・ローガンズで参加させていただきます。よろしくお願いたします。



■温井会長・清水幹事・神山副幹事…クリスマス夜間例会にロータリーファミリーの皆様を始め、多くの方々にご参加いただきありがとうございます。

■都丸 和俊…今年も残すところわずかとなりました。孫たちとクリスマス家族例会に参加できることに感謝します。

■親睦・ロータリー家族委員会一同…本日のクリスマス例会に大勢の皆様にご参加頂きありがとうございます。多くの景品の協賛も感謝致します。色々の企画を準備していますので、楽しんで下さい。

**ロータリーソング** 「四つのテスト」



**点 鐘** 温井会長

## 懇 親 会

**会長挨拶** 皆さん、あらためましてこんばんは。懇親会がスタートしました。コールグローリアのコーラス、いかがだったでしょうか？

さて、クリスマスといえば「サンタクロース」ですが、皆さんは、クリスマスの夜に「なぜ、靴下を吊るすのか」、その本当の理由をご存知でしょうか？実は、サンタクロースのモデルになったと言われる、4世紀頃のキリスト教の司教である「聖ニコラウス」の伝説に由来します。

当時、ある貧しい家に3人の娘がいました。父親は娘たちを嫁がせるための持参金が用意できず、娘たちを身売りしなければならないほど困窮していました。その話を聞いたニコラウスは、なんとか彼女たちを助けたいと思いましたが、彼は「自分の行いを誇示すること」を嫌いました。そこで彼は、真夜中にこっそりとその家の屋根に登り、煙突から金貨を投げ入れたのです。すると、その金貨は偶然にも暖炉のそばに干してあった「靴下」の中に入りました。この金貨のお陰で、娘たちは無事に結婚し、幸せになることができたと言われています。これが、「クリスマスに靴下を吊るす」という習慣であり、サンタクロースが煙突から入ってくるというイメージの原点となりました。

私がこの話で素晴らしいと思うのは、聖ニコラウスが「誰にも知られないようにこっそりと助けた」という点です。これは、私たちロータリアンが大切にしている理念である「超我の奉仕」そのものではないでしょうか？誰かのためにそっと手を差し伸べる優しさ。それは、今日ここに集まっている一番身近な「家族」を大切に思う気持ちもまた、立派な愛であり、奉仕の原点です。

今年のクリスマスは、聖ニコラウスのように「誰かのために、優しさを少しだけ配る」、そんな温かい気持ちを思い出していれば幸いです。

結びになりますが、来る新しい年が皆様とご家族にとって健康で幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

本日は、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。メリークリスマス！

